

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぼっぼ		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 家族	(回答者数) 12 家族
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人ひとりに合わせた創作学習プログラムの設定。 全員参加で行う運動プログラムの設定。	創作活動は、それぞれに合わせた手順書の作成を行っている。 手順書が必要ない児童に関しては、しっかりと見本を見せ、説明をしている。 ポッチャ・リレー・エクササイズなど様々なプログラムを用意している。	同じものでも成熟度によって、創作工程を増やしたり減らしたりしていく。 ipadなどを使ったビジョントレーニング等も充実させていく。 他施設の活動内容を参考にする。
2	生活介護事業所と同じ建物にある事。	中学生以上になると、作業体験として生活介護事業所の作業に参加させてもらっている。 支援学校でも似たような作業体験を行うため、流れに乗りやすい。	作業体験が早下校や長期休みの時に集中してしまうので、もう少し作業体験ができる時間を設定していきたい。
3	同法人に相談支援専門員がいる事。	家族から支援についてや学校での出来事などの相談があった際には同法人の相談員と連携して学校等にアプローチを行っている。	今後も家族からの意見などをくみ取り、相談支援専門員と連携し学校等に情報提供などをしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域連携・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない	コロナ禍という事もあり、地域のイベントなどに参加する事ができなかった。	今後地域のイベントなどに参加していく。または、近くの駄菓子屋などに行く機会を増やし、交流を深める。
2	外部へのレクリエーション不参加。	比較的移動するには不便な場所にあるため、遠くへの外出が少ない。	営業時間内に遠くへ行くようにタイムスケジュールを組んだり、マイクロバスを使用しての外出を企画する。
3	避難訓練の充実(引き渡し訓練)	避難訓練等は行っているが、個々の自宅が遠い為、公共機関を使っでの引き取り訓練が難しい。	土曜日レクなどを利用し、BCPIに基づいた訓練を行い、ご家族が参加しやすい日程を調整・実施できるようにする。